

平成 17 年度 事業 報告

当財団では、展示面積 70,000 m²を有する国際見本市会場「インテックス大阪」の管理・運営を行うとともに、関係各方面に対して一層の営業推進活動に努めたほか、経済交流事業については、ワールドトレードセンター(WTC)やビジネスパートナー都市(BPC)などのネットワークを活用しつつ、国際ビジネス活動支援及び企業誘致促進事業を行うなど、大阪経済の振興・発展・国際化を図るための諸事業を実施した。

また、開業 20 周年にあたり記念事業を実施した。

平成 17 年度に実施した主な事業は次のとおりである。

1. インテックス大阪の管理・運営

- (1) 大阪市からの委託を受けて、インテックス大阪および便利施設の管理・運営を行い、平成 17 年度は 115 件の見本市・展示会等が開催された。このうち新規の見本市・展示会としては、平成 16 年の「ロボカップジャパンオープン 2004 大阪」に引き続き、「ロボカップ 2005 大阪世界大会」が開催されたほか、食品素材、添加物に関する展示会「ifia OSAKA 2005」など合計 15 件が開催された。
- (2) 比較的規模の大きな展示会・見本市としては、4 月には福祉総合展である「バリアフリー 2005」が、5 月には 4 年に 1 度の「'05 食博覧会・大阪」や「国際アパレルマシンショー 2005」が、9 月には環境に関する技術や製品を紹介する「2005 NEW 環境展大阪会場」が開催された。
10 月には「全日本科学機器展 in 大阪 2005」が、11 月には西日本最大級のモーターイベントである「第 4 回大阪モーターショー」が開催された。
- (3) インテックス大阪の多面的な活用を示すイベントとして「サマーソニック ゼロファイブ」などのコンサートのほか、「第 18 回介護福祉士国家試験」や「日本書芸院展作品審査」が実施された。

2. 営業推進事業

- (1) 各種見本市・展示会等がインテックス大阪で開催されるよう首都圏・関西圏の各種業界団体や主催者等を継続的に訪問し誘致活動を行った。
また、東京において「東京交流会」を開催し、展示会・見本市の主催者団体や関連業界の役員等と直接面談する機会を持つことにより、インテックス大阪での展示会・見本市の開催実現に向けたセールスプロモーションと人脈づくりに努めた。一方、大阪においては営業推進部と国際部が共同で在阪の主催者及び国際部 IBPC(International Business Promotion Center)の会員を対象に「インテックス大阪フォーラム」を開催し、大阪経済の活性化と都市再生を図るためのセミナー及び交流・懇親の場を設けることにより、PR と利用促進に努めた。

- (2) 我が国の7大展示施設で結成された「大規模展示場連絡会」に参画し、新規需要開拓のための協同研究調査事業を継続実施した。また、日本貿易振興機構(JETRO)が主催する「見本市・イベント研究会」等に参加し、見本市事業や調査活動の研究を通じて新しい展示会のビジネスモデルの構築や出展者、来場者に対する新しいサービスの情報収集を行った。
- (3) インテックスビジョン、タッチパネルガイドによりイベント情報を放映するとともに催事記録ビデオの製作等、催事サポートを行った。また、インテックス大阪の施設紹介パンフレットやホームページ(<http://www.intex-osaka.com>)等、多様なメディアを通じてインテックス大阪の宣伝を行った。
- (4) 「大阪ベイエリア連携会」に参画し、コスモスクエア地区の集客施設と共同でイベント情報誌「ベイエリア・ナウ」を発行するとともに、ベイエリアマップの作成配布やホームページを開設し、ベイエリアへの集客に努めた。
- (5) 自主企画事業として、10月に「陶芸ジャパン 2005 彩りの器市」を開催した。今回で11回を迎え、多角的に陶芸の魅力に触れることのできる大阪の秋の恒例イベントとして定着し、来場者及び出展者共々その評価は年々高まり、インテックス大阪の稼働率と集客の向上及び展示場会場としてのPR効果の向上に貢献した。
- (6) 当施設は平成17年5月に開業20周年を迎えたが、これを記念して、以下の3事業を実施した。
- 5月、「ロボカップ2005 大阪世界大会」と併催された「関西次世代ロボットフォーラム2005」に協賛し、今後大阪において成長が期待されるロボット産業を側面から支援した。
- 10月、「陶芸ジャパン2005 彩りの器市」において、特別企画展『暮らしを彩る食と器』を実施し、テーブルコーディネートによる器を彩る食空間の魅力を紹介した。
- 当財団の20年間の歩みを記録する記念誌を発行した。

3. サービス提供事業

インテックス大阪に付随する駐車場の運営管理を行うとともに、インフォメーションセンターにおいては、共通食事券販売、宅配便取次、車椅子貸出しサービスなどの来場者サービスを行った。また、17年度は施設内の案内表示の充実に努めたほか、電話・FAXによるイベント案内、交通案内、窓口での館内案内、その他多様な情報提供を行った。さらに、ビジネスセンターにおいては、コピー、FAX、パソコン・インターネット利用、名刺作成サービスなどのビジネスサポートを行った。

4. 経済交流事業

(1) 国際ビジネス活動支援事業

大阪経済の国際化と活性化を図るため、ワールドトレードセンター(WTC)や

ビジネスパートナー都市（BPC）などの海外ネットワークを活用して、大阪の中小企業の国際ビジネス活動を支援した。

貿易・投資・海外取引に関する専門的立場からのアドバイスやビジネス相談を年間 600 件程度行い、中国に関する専門相談も実施した。

輸出入促進のため、中国、インドネシア、韓国など諸外国の商品展示会を 4 回開催し、それに関する商談会も実施した。また、WTC 関連で常設展示を 2 回開催するとともに、BPC 提携協力先と商談会も開催した。

海外からの企業ミッションなどを 54 件受け入れるとともに、それに関する商談会等の開催協力を行った。また、現地企業とのビジネス交流を目的とした中国の天津・西安訪問団の派遣も行った。

ホームページ（<http://www.ibpcosaka.or.jp/j>）で、貿易引き合い情報、イベント情報、日本市場情報などを常時更新して提供しており、貿易引合掲示板を含め約 46 万件のアクセスがあった。

アジア太平洋地域から 18 名の中小企業幹部候補者並びに日系進出企業の現地採用幹部を受け入れ、経営管理者養成及び日本企業の経営理念への理解を深めていただくための人材育成研修を実施した。

市内中小企業者及び会員を対象に、情報交流会、貿易投資セミナー、各種研修会を 35 回開催した。

（2）企業誘致促進事業

大阪市へ進出を希望する国内外の企業を発掘し、助成制度の紹介をはじめとする広報活動や企業招聘事業など、大阪進出を促進するための各種企業誘致活動を行った結果、39 社が市内進出を果たした。

大阪への投資意欲を有する内外企業を対象にしたホームページや各種パンフレットを作成し、企業誘致のための助成制度、投資環境情報等の提供に努めた。

首都圏に進出している外資系企業等を対象とした東京での誘致説明会を 2 回開催し、大阪への進出を促進した。

WTCA2005 総会に参加して上海で誘致有望企業の発掘を行い、天津、台湾で企業誘致セミナーを開催、海外企業へ直接プロモーション活動を行った。大阪への誘致が有望な外資系企業等 38 社を大阪に招聘し、ビジネスマッチングや各種コンサルティング等の支援事業を実施した。

成功報酬制を導入し、国内外の企業に精通したコンサルタント等を活用した重点産業の誘致有望企業の発掘を行い、3 社が市内進出を果たした。

ロボットビジネスコンペ事業を実施し、国内外の企業 9 社が入賞した。

「第 4 回バイオ EXPO」に出展し、誘致説明会を開催した。

中国企業誘致専門スタッフを活用し、中国企業 9 社の誘致に成功した。

5. 理事会及び評議員会

(1) 第55回評議員会

開催日 平成17年4月19日

議 題 理事の選任について

(2) 第71回理事会

開催日 平成17年4月19日

議 題 常務理事の互選について

評議員の委嘱について

(3) 第72回理事会

開催日 平成17年6月29日

議 題 平成16年度事業報告及び収支決算について

評議員の委嘱について

報 告 諸規程（処務規程、個人情報保護規程）の改正について

(4) 第56回評議員会

開催日 平成17年6月29日

議 題 理事の選任について

報 告 平成16年度事業報告及び収支決算について

諸規程（処務規程、個人情報保護規程）の改正について

(5) 第73回理事会

開催日 平成17年6月29日

議 題 理事長、副理事長の互選について

(6) 第57回評議員会

開催日 平成18年3月23日

議 題 平成18年度事業計画及び収支予算について

理事の選任について

報 告 評議員の選任について

諸規程（就業規則、職員給与規程）の改正について

(7) 第74回理事会

開催日 平成18年3月23日

議 題 平成18年度事業計画及び収支予算について

評議員の委嘱について

諸規程（就業規則、職員給与規程）の改正について